

## 第4節 母子保健福祉

### ポイント

#### 現状と課題

- ・母子保健指標としている周産期死亡率や乳児死亡率・新生児死亡率は着実に改善され、近年はほぼ全国平均と同程度の水準になっている。
- ・引き続き「健やか親子21」を踏まえた取り組みを市町村及び関係機関と連携して進めていく必要がある。
- ・発達上の問題を抱える児童は虐待を受けるリスクが高いため、育児不安の軽減等が図られるよう支援が必要。
- ・乳幼児の保険診療における一部負担金（総医療費の2割または3割）に対し市町村が助成する場合、県でその1/2を助成。
- ・平成20年度から現物給付方式（窓口無料化）による助成制度を導入

#### 対策

- ・母と子の健康づくりの推進
- ・不妊に悩む県民への支援
- ・思春期における健康づくりの推進
- ・子どもの虐待防止
- ・乳幼児医療の負担軽減

### < 現状と課題 >

県では、母子保健対策として、少子化や核家族化の中で県民が安心して子どもを産み、子どもの健やかな成長とゆとりある子育てを支援するための家庭や地域における環境づくりの推進を目的とした各種施策を実施しています。

国は、21世紀の母子保健の取組の方向性と目標や指標を示した、「健やか親子21」を平成12年10月に策定し、母子保健の新たな課題として、育児不安や虐待対策を含めたより広範な子育て支援の役割と不妊対策や思春期対策などを示しました。

平成17年度には中間評価が行われ、地域における関係機関の連携強化や母子保健情報の収集・利活用に向けたシステム整備の必要性が提言されました。

本県では、これまでの関係者の様々な取り組みの結果、母子保健の水準を示す指標は概ね全国平均のレベルまで改善されました（表-1参照）。

引き続き、「健やか親子21」を踏まえて母子保健福祉の向上に向けた取り組みを市町村及び関係機関と連携して進めていく必要があります。

児童虐待は、少子化や核家族化、地域の養育力の低下、経済不況等を背景に、保護者の育児負担、地域での孤立などからの育児ストレスを感じ、虐待に至ってしまうケースも多く、年々増加しています。

虐待は、様々な要因が重なって起きることが多く、特に児童が自閉傾向、情緒障害、言語障害等の場合は虐待のリスクが高い傾向にあります。

虐待の未然防止のためには、児童の発達上の問題、保護者の育児不安などリスク要因を抱える家庭に積極的に支援していく必要があります。

国の「健やか親子 21」の中間報告書においても、児童虐待防止対策は引き続き強化が必要とされており、子どもの心の安らかな発達の促進と、育児不安の軽減を図っていくことが重要であるとされています。

乳幼児の疾病等に際し、受診に伴う経済的な負担を軽減することにより、乳幼児疾病の早期発見と早期治療を促し、乳幼児を安心して生み育てることができる環境づくりを推進しています。

乳幼児の保険診療における一部負担金（総医療費の2割または3割）を乳幼児の居住する市町村が助成する場合に県でその1/2を助成しています。

助成の対象となる年齢は、通院については5歳未満、入院については小学校就学前です。

子育てに伴う経済的負担の軽減のほか、申請手続の利便性から、助成の方法は、医療機関で一部負担金を支払わずに受診できる現物給付方式（窓口無料化）を、平成20年度から実施することにしています。

表 - 1 母子関係人口動態統計、国、県の推移

年次		H14	H15	H16	H17	H18
出生率 (人口千対)	山梨県	9.0	8.8	8.6	8.2	8.2
	全国	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7
乳児死亡率 (出生千対)	山梨県	2.5	3.5	2.8	2.5	3.1
	全国	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6
新生児死亡率 (出生千対)	山梨県	1.9	1.9	1.2	1.0	1.0
	全国	1.7	1.7	1.5	1.4	1.3
死産率 (出産千対)	山梨県	32.0	26.2	30.7	26.6	24.2
	全国	31.1	30.5	30.0	29.1	27.5
周産期死亡率 (出産千対)	山梨県	7.7	6.4	5.4	4.5	3.7
	全国	5.5	5.3	5.0	4.8	4.7
妊産婦死亡率 (出生10万対)	山梨県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	全国	7.1	6.0	4.3	5.7	4.8
合計特殊出生率	山梨県	1.39	1.37	1.36	1.38	1.34
	全国	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32

資料：厚生労働省「人口動態統計」

表 - 2 乳幼児医療費助成実績

年 度	H14	H15	H16	H17	H18
給付延件数	452,194 件	460,368 件	471,618 件	491,693 件	524,998 件
補助金額	518,891千円	463,475千円	451,651千円	446,814千円	466,220千円

< 対策 >

**1 母と子の健康づくりの推進**

母子保健推進体制の整備

県母子保健評価運営委員会や保健所母子保健推進会議などを開催し、市町村や母子保健関係機関と連携しながら各種母子保健サービスについて評価検討を行い、本県の母子保健施策を効果的に推進します。

また、母子の健康づくりの推進に当たって重要な役割を果たしている母子保健地域組織の育成・支援を引き続き行っていきます。

乳幼児の異常の早期発見

先天的な病気や異常を早期発見して誰もが健やかに成長できるよう、先天性代謝異常検査の実施や新生児聴覚検査の普及促進を図るとともに、市町村が行う健康診査等との連携を図りながら、医師や保健師等による専門的な支援を行います。

生涯を通じた女性の健康支援

女性には、特有の疾患（子宮筋腫・子宮がん・乳がん・骨粗鬆症・更年期障害等）があり心身に関する悩みを抱える者が多いことから、女性健康相談センターにおいて相談事業を実施します。

女性健康相談センター「ルピナス」

電話相談：毎週木曜日 午後 3 時～7 時（祝日、年末年始を除く）

専用電話 055-223-2210 保健師が対応

面接相談：第 1・第 3 木曜日 医師や心理カウンセラーが対応

場所：県民情報プラザ 2 階特別相談室（甲府市丸の内 1-8-5）

**2 不妊に悩む県民への支援**

特定不妊治療費助成事業の実施

体外受精、顕微授精を対象に治療費の負担軽減を図るため、特定不妊治療費助成事業を実施します。

## 不妊相談センター事業の実施

不妊相談センターにおいて不妊に悩む県民に対する相談や情報提供を行います。

### 不妊相談センター「ルピナス」

電話相談：毎週水曜日 午後3時～7時（祝日、年末年始を除く）

専用電話 055-223-2210 保健師が対応

面接相談：第2・第3・第4水曜日 医師や心理カウンセラーが対応

場所：県民情報プラザ2階特別相談室（甲府市丸の内1-8-5）

## 3 思春期における健康づくりの推進

### 健康情報等の提供による意識啓発

保健所、女性健康相談センターなどにおいて健康相談を実施するとともに、性感染症の予防に関する講習会などを開催し、思春期における健康づくりのための意識啓発を行います。

## 4 子どもの虐待防止

### 育児支援家庭訪問事業等の実施促進

保護者の育児不安を軽減することにより虐待の予防に繋げるため、育児支援家庭訪問事業や新生児訪問事業などへの積極的な取り組みを事業主体である市町村に働きかけていきます。

### 児童の発達上の問題があり育児不安を抱える家庭への支援

児童の発達上の問題があり、育児不安を抱えている家庭に対して、児童相談所において、「1歳6ヶ月、3歳児精神発達精密健診事後指導事業」、「集団適応困難児童マザースホーム事業」を実施し、児童には、グループでの課題学習、感覚運動、遊戯療法などの訓練、指導を行い、保護者には、情報提供やカウンセリングを行い、児童への理解の促進や保護者同士の交流等を図る中で、育児不安を抱える家庭を支援していきます。

### 子どもメンタルクリニックの実施

虐待により心を傷つけられた児童等を対象に、児童相談所において子どもメンタルクリニックを実施していきます（詳細は第7節「保健、医療、福祉の総合的な連携を推進する施設」の児童相談所に関する記載を参照）。

## 5 乳幼児医療の負担軽減

未熟児養育医療等の給付

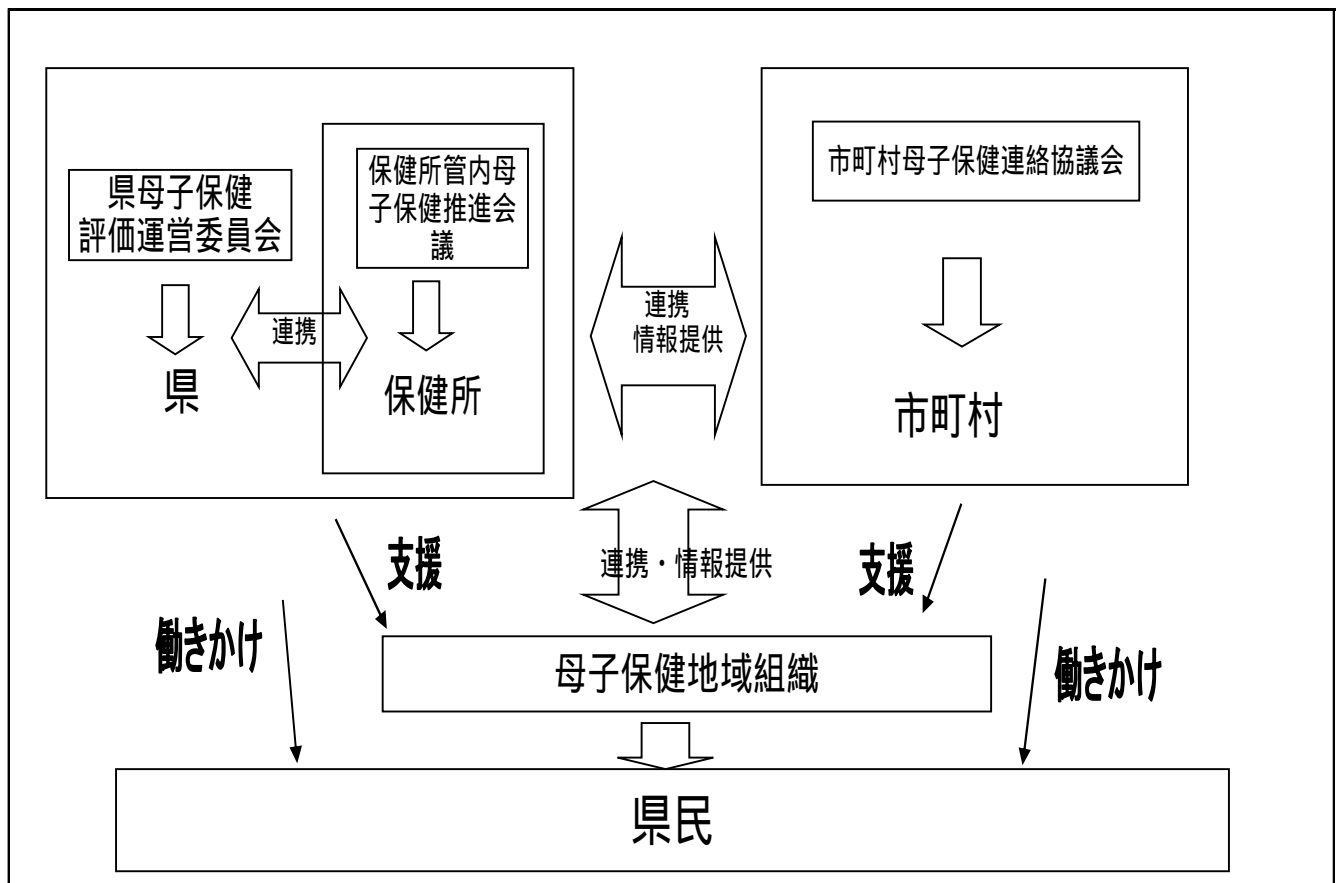
未熟児や病児の健やかな成長を支援するため、養育医療や育成医療の給付及び小児慢性特定疾患医療費の給付を行います。

助成対象年齢の拡大の検討

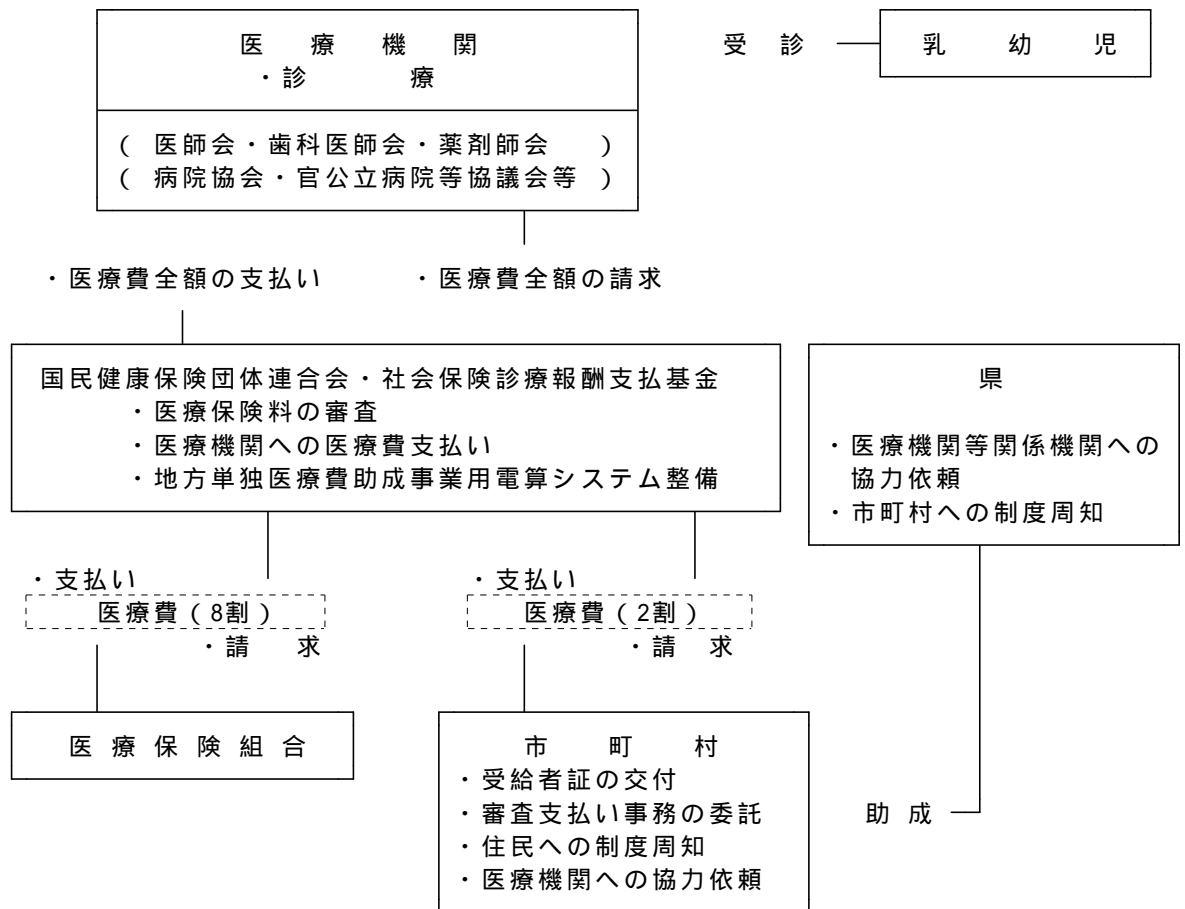
現物給付方式による県や市町村の財政負担の状況を見極めながら、実施主体である市町村と十分に協議をする中で検討していきます。

### < 推進体制 >

#### 母子保健推進体制



乳幼児医療費の現物給付方式（窓口無料化）



< 指標（数値目標） >

目標項目等	現状	平成24年度目標
妊婦健診受診率（公費負担分）	91.3%（H17）	100.0%
1歳6ヶ月児健診受診率	91.1%（H17）	100.0%
3歳児健診受診率	87.5%（H17）	100.0%
生後4ヶ月までに全乳児の状況を把握している市町村の割合	92.9%（H19）	100.0%

（参考）妊婦健診受診率：各市町村は、妊娠の届け出に基づき妊婦健診票を交付し、費用の一部を助成する制度（公費負担）を実施しています。

ここでは、市町村が交付した妊婦健診受診票を利用した割合を妊婦健診受診率として設定しました。